

# 埼玉の豊かな 水とみどりを 守り育む分科会

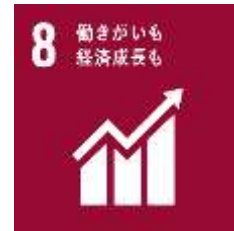


～水辺空間の持続可能な利活用及び環境課題解決に向けた検討部会～

# 部会における背景・課題等について

## 川の国埼玉の将来像

魅力的な水辺空間が県民の**大切な財産**として守り育てられ、**人々が賑わう**埼玉の豊かな川



人々の賑わいのみで、自然環境や生物多様性をおろそかにして

# 「川の国埼玉」の実現はない

# 令和5年度の取組み内容について

「利活用×環境保全」をテーマに、水質改善や環境保全を考えるプロジェクトを実施

プロジェクトチーム	活動概要
自然共生サイトPT	調節池のOECM位置付けを目指しフィールドワークなどを実施
横瀬川社会実験PT	地域課題を踏まえつつ水辺の新たな利活用を社会実験的に実施
大相模調節池水環境改善PT	今後利活用が進む調節池の水質改善等実証実験の実施
次年度PT設立準備	県内調節池の利活用に向けた事前調査・イベントにおける周知宣伝

## 構成メンバー(15者)

(株)アミューズ イオンモール(株) (一社)近未来ハイスクール NPO法人越谷市カヌー協会  
(公財)埼玉県生態系保護協会 埼玉大学 NPO法人埼玉環境カウンセラー協会  
(株)埼玉りそな銀行 (株)竹中工務店 (株)地域デザインラボさいたま  
東松山市 明治安田生命保険相互会社 レイクアンドピース(株)  
県河川環境課 県水環境課

# 自然共生サイトPT・次年度PT設立準備における取組

## 自然共生サイトPT

大森調節池、水谷調節池事業地における自然共生サイトの認定条件に基づく現況の情報収集・整理を実施



## 次年度PTの設立準備

- レジャー&アウトドアジャパン2023に埼玉県河川環境課ブースを出展し、調節池利活用のニーズを調査。
- 展示会来訪企業向けに調節池実地視察会を開催。



30社以上が興味を示しました。



# 横瀬川社会実験PTにおける具体的な取組

- ウォーターパーク・シラヤマを活用したビジネスの実証実験\*に向け、ワークショップを開催
- 住民、企業、町等の関係者と、現地視察や意見交換を実施

## 【目標】

川辺での新規ビジネスの研究・開発や川の魅力に気付ける機会づくりにより、賑わいの創出を目指す



SAITAMA / リバサポ-PT

\*横瀬町の地域活性化に向けた取組「よこらぼ」に、リバサポが企業の実証実験スポットの設置を提案し、採択

# 大相模調節池PTにおける具体的な取組

3回のワークショップを通じて、大相模調節池への関心を高め、水質浄化と利活用の両立するアイデアを創出。

- 第1回ワークショップ…アクティビティ(浮く畑の田植え、カヌー体験)を通じて、水質浄化への関心を高める。
- 第2回ワークショップ…他地域事例(入間川ニコニコテラス)を研究し、水辺利活用のためのアイデアを深める。
- 第3回ワークショップ…今まで体験を通じて検討してきたアイデアを具現化していくための方法を考える。



具現化されたアイデアを継続化させるために

第4回ワークショップは、クラウドファンディング等による活動財源創出方法について学ぶワークショップを検討。

# 大相模調節池PTにおける具体的な取組

## すすきで 巨大迷路

入間川河川敷に生えている  
すすきを自ら草刈りをして  
巨大迷路を作ります！



# 大相模調節池PTにおける具体的な取組

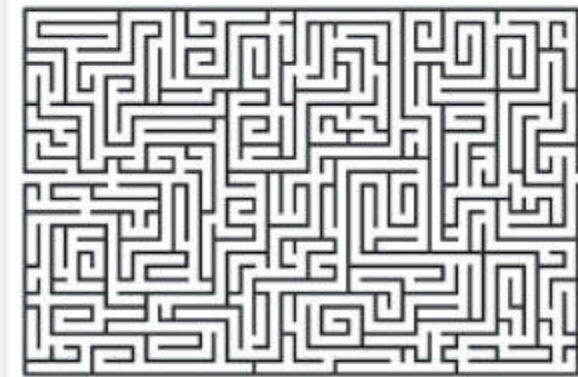
## 現状

現在、入間川河川敷の反対岸は草が生い茂っており、活用しきれれていません。しかし、そこへ人の手が行き渡ることで美しい入間川河川敷の景観の一部となるに違いありません。



## 活用法

そこで斬新かつ大人から子供まで楽しむことのできる巨大迷路を制作します。また、巨大迷路のある反対岸に渡るために必要となる水上アスレチックを用意します。





# 大相模調節池PTにおける具体的な取組



# 大相模調節池PTにおける具体的な取組

## 対象者

小学生程度の子供とその親御さんを対象に考えています。

子供たちが学校等で発信することにより多くの人へ情報が行き渡ります。



家でゲーム等をして過ごす子供たちが増加する中、家の外で遊ぶきっかけになります。

また、大人を含む多くの人々が埼玉県の川を初めとする自然に触れるきっかけにも繋がります。

# 大相模調節池PTにおける具体的な取組

## 設置にあたり

狭山市役所で土地利用の許可をもらい設計をします。  
埼玉県土整備事務所の行っている芝刈り活動を利用して自らの手で巨大迷路を作成します。ボランティア活動として行うため、業者の方に頼むことに比べて大幅に安く済み、他の活動に予算を回すことが可能になります。

## 協力者

- ・石野さん(埼玉県河川環境課)
  - ・近未来ハイスクール
  - ・リバーサポーターズ
  - ・埼玉県立所沢高等学校



# 大相模調節池PTにおける具体的な取組

## 課題

- ・ 年間通して維持するにはどうするのか
- ・ 迷路内で迷子になってしまった時にどうするのか
  - ・ 大声等による近隣住民の迷惑にならないか
- ・ この活動がこれからも持続的に続いていくのか



大人の方の助けも借りながら解決策を見出してまいります。

# 大相模調節池PTにおける具体的な取組

## 水上アスレチック

巨大迷路が設置されている川の反対岸へ渡るために行います。  
また、多くの方が川に触れるきっかけになります。

- ・ウォーターボール(費用：6千～2万円)
- ・水上自転車(費用：1万5千～2万5千円)
- ・水上ターザンロープ(費用：150万程度)



体験の際には救命胴衣の着用、監視員の常駐が必須

# 大相模調節池PTにおける具体的な取組



和歌山県で水上ターザンは実施中

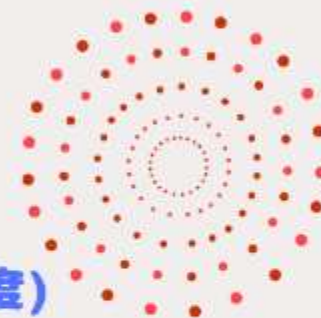


# 大相模調節池PTにおける具体的な取組

## フェスの開催

多くの人が集まってきた際にフェスを開催してさらに多くの人に入間川や埼玉県の魅力を知ってもらいます。

- ・ ステージトラックの使用(費用：20万程度)  
→ 学生の発表の場やゆかりのある有名人を呼びます。
- ・ 屋台の設置 → 地元の店舗や所沢高校から出店します。
- ・ イルミネーションの設置(費用：電気代は別で1000万程度)
- ・ 花火の打ち上げ(費用：小規模なもので1日あたり100万)



# 大相模調節池PTにおける具体的な取組



利根川花火大会

北海道の川のイルミネーション





# 大相模調節池PTにおける具体的な取組

## 課題



### 水上アスレチック

- ・ハプニングが発生した際にどのように対応するか
- ・濡れた際の着替えのスペースをどのようにするか
- ・監視員の確保をどうするのか
- ・悪天候時の判断を正確に行うための指標をどうするのか

### フェス

- ・近隣住民への騒音の対策をどうするのか
- ・ゴミ問題などの環境への対策はどうするのか

# 大相模調節池PTにおける具体的な取組

## 利益

- ・ 巨大迷路入口、又は水上アスレチック体験前で集金
  - ・ フェスでの屋台出店の際に売上高の10%を回収
- 人との繋がりも生まれます！



# 大相模調節池PTにおける具体的な取組

私たちは入間川を多くの人に  
知ってもらいたい！

埼玉県立所沢高等学校  
関根雪粋 益田佑樹 小川志茉  
梶山千華 小久保玲菜  
山崎かれん 杉山月咲

# 大相模調節池PTにおける具体的な取組



# 大相模調節池PTにおける具体的な取組

## 概要

テーマ	レイクタウンの大相模調節池で水辺を考える
実施予定の内容	学校の垣根を越えた様々なメンバーを集めながら、大相模調節池の水辺を考えていく
理由	住んでいる地域にも川が多くあり、水辺には興味があった。水辺をキレイにしたり、水辺での利活用を活性化させることによって、みんなの憩いの場としたいと思った。近未来ハイスクールへの参加をきっかけに大相模調節池について知ることができ、ワークで様々なアイデアを出したため、それを引き続き考えてみたいと思った
目標	地域の人たちを巻き込みながら、形に残る「なにか」を1年間かけて実行する 来年のSDGsフォーラムで成果を発表する
協力	一般社団法人近未来ハイスクール 埼玉県（事務局：株式会社地域デザインラボさいたま） レイクアンドピース株式会社

# 今後の展開について

## 「人々の賑わい」「自然環境・生物多様性」の **発展** と **継続**

【今年度の活動予定】 「各PTの施策を持続化させるワークショップ」の開催  
～取組に必要な「人」や「財源」の確保に向けて～

【来年度の活動予定】

### 自然共生サイトPT

- 県内調節池(数か所)の自然共生サイト登録を推進
- 企業・団体と連携した持続的な維持管理スキームを検討

### 大相模調節池PT

- 「浮く畑」を軸にしたオフグリッド水上拠点の構築
- 高校生による「環境保全×賑わい施策」の実現

### 調節池利活用PT

- 地域特性に合った調節池利活用の導入促進・モデル構築
- 企業×学生×行政による利活用アイデアの共創



# 「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む」分科会 ～都市公園の持続可能な利活用と環境保全に関する検討部会～

## 【検討グループ】

1. 大宮公園（R3～）
2. 熊谷スポーツ文化公園（R5～）
3. こども動物自然公園（R5～）

# 「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む」分科会 ～都市公園の持続可能な利活用と環境保全に関する検討部会～

## 【検討グループ】

1. 大宮公園（R3～）
2. 熊谷スポーツ文化公園（R5～）
3. こども動物自然公園（R5～）



# 「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む」分科会 ～都市公園の持続可能な利活用と環境保全に関する検討部会～

<大宮公園検討グループ構成メンバー(25者)>

				
 国際ロータリー第2770地区第3グループ		 今日も明日もずっと。 毎日興業株式会社		
 さいたま観光国際協会 Saitama Tourism International Association		 JAKUETS	 一般社団法人 キャリアチャレンジ 総合研究所	
 埼玉県立 歴史と民俗の博物館 Saitama Prefectural Museum of History and Folklore			 積水ハウス建設関東株式会社	
 学校法人 芝浦工業大学		 BROCADIA Technologies & Concept Development		 TAIKI PRINTING Co., Ltd.

# 大宮公園検討グループの背景・課題、目的

## 【背景・課題】

大宮公園は、1885（明治18）年の開設の130年を超える歴史ある公園。

近年は、悪化した舟遊池の水質改善や池周辺を含めた魅力の創出が課題。



平成30年にアオコが大量発生

## 【目的】

大宮公園の歴史的価値や美しい風景、豊かな自然環境などを次世代に継承するため、①舟遊池の水質改善と水辺環境の再生・保全を図るとともに②新たな賑わい創出に継続的に取り組む。

# 【目的①】舟遊池の水質改善と水辺環境の再生・保全

## かいぼりの手順と県の取り組み

昨年度の発表

10月3日から



水をめく

- ・ボランティアリーダー「大宮池守」育成

11月3日, 4日  
大掻掘まつり



魚をとる

- ・大宮公園大掻掘りまつり

3月まで



ほし上げ

- 池底活用イベント
  - ・池底ウォーク
  - ・浅場づくり

3月末から



水をためる

- ・「大宮池守」による水辺再生・保全、普及啓発
- ・池の利活用

# 【目的①】舟遊池の水質改善と水辺環境の再生・保全

- ボランティアリーダー「大宮池守」



- 大宮公園 大掘りまつり



ボランティア参加人数 322人 2日間合計延べ



- 池底活用イベント  
・ 池底ウォーク



# 【目的①】舟遊池の水質改善と水辺環境の再生・保全

池底活用イベント  
・ 浅場づくり



# 【目的①】舟遊池の水質改善と水辺環境の再生・保全

生物モニタリング ※結果は集計中



夏場の草刈り



大宮公園検討グループ

<8>

# 【目的①】舟遊池の水質改善と水辺環境の再生・保全

外来種の駆除

・アメリカザリガニ



1万匹以上捕獲



・ミシシッピアカミミガメ



26匹捕獲



# 【目的①】舟遊池の水質改善と水辺環境の再生・保全

普及啓発活動

活動時の普及啓発(6~9月計4回)





# 【目的①】舟遊池の水質改善と水辺環境の再生・保全

普及啓発活動

七夕Night+イベント(6月)



七夕Night+(7月)



大宮公園検討グループ

<11>

# 【目的①】舟遊池の水質改善と水辺環境の再生・保全

普及啓発活動

県庁オープンデー(11月)



ボート池復活祭(12月)



大宮公園検討グループ

<12>

# 【目的②】利活用促進(賑わい創出)の取組

大宮公園の持つ魅力やポテンシャル、公園の新たな利活用方法をイベントをとおして広く県内外にPR!

## 七夕Night(7月)

- ボート池での氷川神社による祭事や水辺で乾杯
- 公園ライトアップ
- 池の周囲に笹竹短冊
- ボート池ステージ上でのキャンドルナイト



## 防災車中泊&キャンプフェス(10月)

- 大宮第二公園調節池を活用した車中泊・キャンプ
- 大宮アルティージャパブリックビューイング
- 防災トークショーなど防災を学ぶステージイベント
- 「イツモ防災」PRブース



## ボート池復活祭(12月)

- 一日限りのボート復活&昔のボート写真展示
- 落ち葉拾い&焼き芋大会
- 人力車体験(花嫁・花婿さん、その他一般乗車)
- 地元幼稚園等とコラボしたステージイベント



# 令和6年度以降の大宮公園検討グループ活動方針

## 活動目的

官民連携で ①水とみどりを守り育てる とともに、それらを活用した ②地域経済の活性化や賑わいの創出、**学びや交流の促進**、自然環境の保護や脱炭素社会の実現を目指す。 <埼玉県HPより>

## 活動内容

### 1. 舟遊池の水質改善・維持、水辺再生の取組<環境保全>... 県主体

- ・大宮池守による継続的な水辺再生活動への支援
- ・かいぼりイベントの企画・実施
- ・その他、舟遊池の水質改善・維持、水辺再生に関わること

### 2. 新たな賑わいづくり<利活用>... 民間主体

- ・大宮公園の新たな賑わいや価値創出に資する取組、公園の新しい活用方法を提案するイベント等の企画、実施
- ・氷川神社など周辺観光資源や大宮地区のまちづくり団体等(UDCOなど)と連携した活動や取組の企画、実施
- ・その他、上記に準ずる取組 \*今後は「大宮スーパー・ボールパーク構想」を見据えた検討も進める。

# 「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む」分科会 ～都市公園の持続可能な利活用と環境保全に関する検討部会～

## 【検討グループ】

1. 大宮公園（R3～）
2. 熊谷スポーツ文化公園（R5～）
3. こども動物自然公園（R5～）

# 熊谷スポーツ文化公園検討グループ

- 課題**
- 東西に広く、中央を道路で分断されている。園内の豊富なリソースを活用し、公園全体としての魅力をどのように高めていくか。
  - 公園の名称にもなっている「文化」の側面が弱い。
  - 熊谷駅から北東へ約5 kmというロケーションの課題。
  - リーグワンなど大規模イベント時の渋滞の発生。

## 参加団体

ウスキングベアグル

ウスキングベアグル



一般社団法人  
埼玉県スマートまちづくり



明治安田生命保険相互会社



公益財団法人  
埼玉県公園緑地協会



株式会社NEXT LIFE



プロケイダ合同会社



株式会社埼玉ジャクエツ



一般社団法人  
埼玉県ラグビー  
フットボール協会



熊谷市観光協会

## 活動状況

令和5年 7月10日(月) グループ立上げ 第1回打合せ(園内施設見学、意見交換)  
8月29日(火) 第2回打合せ(意見交換)  
12月 8日(金) 第3回打合せ(意見交換)

## 主な意見

- 【公園全体でのイベントの開催】 ➡ ラグビー観戦後に公園へ宿泊するイベントの開催(パークウィング、車中泊、テント泊等) マルシェ、パブリックビューイング(スポーツ観戦) 公園全体でのスタンプラリー、焼き芋体験(園内落葉を利用) など
- 【文化に関するイベントの定期開催】 ➡ 音楽祭映画祭、学生による美術作品の展示、フォトコンテスト、ドライフラワーなどのワークショップ
- 【施設の整備】 ➡ 飲食店、シャワーなど長期滞在を促す施設整備、公園内で循環する仕組み作り(公園内に畑を作る⇒取れた野菜を園内のカフェ・レストランで調理⇒食品残渣堆肥化⇒畑)

**来年度の方向性** 今年度議論した内容を実現に向けて更にブラッシュアップしていく



熊谷スポーツ文化公園検討グループ

<16>



# 「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む」分科会 ～都市公園の持続可能な利活用と環境保全に関する検討部会～

## 【検討グループ】

1. 大宮公園（R3～）
2. 熊谷スポーツ文化公園（R5～）
3. こども動物自然公園（R5～）

# こども動物自然公園検討グループ

## 構成メンバー

- ・ 東武鉄道株式会社
- ・ 川越観光自動車株式会社
- ・ 株式会社ビクセン
- ・ エッジニア合同会社
- ・ 一般財団法人東松山市観光協会
- ・ 東松山市役所(商工観光課・都市計画課)
- ・ 公益財団法人埼玉県公園緑地協会
- ・ 埼玉県公園スタジアム課

## 課題

- ・ GWや秋の行楽シーズンにおける駐車場の混雑や周辺道路の渋滞問題
- ・ 来園者数はピーク時の7割程度となっており、多種多様な主体との連携による魅力あるコンテンツづくりと情報発信が必要

## 取組実績

- ・ 意見交換会(2回)
- ・ 現地視察
- ・ 新規コンテンツ(VRなど)試作



# 「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む」分科会 ～里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会～

## 構成メンバー(21者)

県みどり自然課 県森づくり課 入間市 飯能市 吉見町  
飯能信用金庫 (NPO法人)埼玉ハンノウ大学  
(NPO法人)埼玉環境カウンセラー協会  
株式会社自然教育研究センター 獨協大学 埼玉大学  
公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 秩父広域森林組合  
株式会社ノヴァ 武蔵野銀行 望月印刷株式会社  
株式会社住田工務店 (株)埼玉りそな銀行 株式会社Akinai  
一般財団法人 埼玉しあわせ未来基金 森のフィールド学舎

発表者: 県みどり自然課(事務局)、入間市、飯能信用金庫、(NPO法人)埼玉ハンノウ大学

# 検討部会における背景・課題等について

## 【課題】

里山や平地林の減少や荒廃。保全や管理の担い手不足。関係者間をつなぐ情報共有や連携が不十分。

## 【意見・アイデア】

### ○加治丘陵（入間市）におけるフィールドワーク

現地の実態把握、保管木・残置丸太の活用策の検討

## 【実施した事業・取組】

### ○はんのう森林プラットフォーム

R4年度の検討部会で提案され、今年度から立ち上がったプラットフォームの交流事業として「はんのう森林未来塾」の開催（3回のセッション、6日間）

# メンバーからの意見・アイデア等について

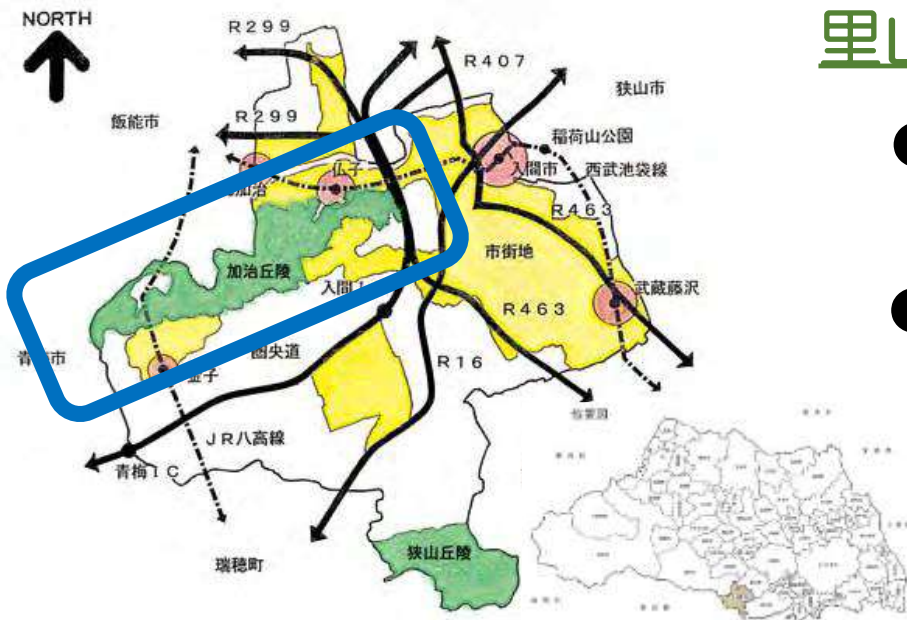
## 加治丘陵における視察及び保管木・残置丸太の検討①<加治丘陵の概況>

### 里山、まちのシンボル、原風景 ⇒ 保全・活用

- 加治丘陵さとやま計画 H10.3～  
計画区域424ha 5つの区域に分け保全・活用の推進
- (仮称) 加治丘陵さとやま自然公園見直し計画 H20.7～  
110.2haを都市公園として整備予定

### 保全・活用の推進における課題

- 行政：人口減少・人口構成の変化への対応、活用の充実  
(財政の硬直化、直営人員スリム化の影響解消)
- 関係団体：会員の高齢化・減少への対応  
活動資金や情報等の確保への対応
- 自然環境：地球温暖化や虫害による環境変化への対応



位置：首都圏の北西約40km圏、埼玉県南端の中央  
人口：144,732人（令和6年1月1日現在）  
面積：44.69 km<sup>2</sup>（東西9.3km、南北9.8km）  
加治丘陵：市域の北西部に位置する約460haの丘陵

# メンバーからの意見・アイデア等について

## 加治丘陵における視察及び保管木・残置丸太の検討②<保管木等の現状>

### ●山林管理ボランティア団体による 山林管理（ボランティア活動）

■11団体・223人が活動  
（令和5年4月1日現在）

■13カ所・22.8haの活動地

■間伐・枝打ち・下草刈りや、  
四阿・ベンチ等の整備を実施



保管木  
残置丸太  
増加中

### ●NPO法人加治丘陵山林管理グループによる整備（業務委託）



NPO法人加治丘陵山林管理グループ <https://www.npo-kajikyuryo.net/>



### ●2020年代～ ナラ枯れ被害による倒木の恐れのある木が増加



# メンバーからの意見・アイデア等について

加治丘陵における視察及び保管木・残置丸太の検討③<山林管理Gへのヒアリング・FW・意見交換より>

▼再整理 加治丘陵において、現状問題となっていること

伐採された木材の未活用（保管木等）

ナラ枯れ被害の増加

里山平地林検討部会メンバーでフィールドワーク、意見交換  
飯能信用金庫が加治丘陵山林管理グループへ訪問・ヒアリング



1 市有林の「公共性」

2 木という材質の特性

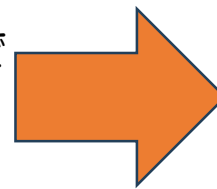
3 手入れの担い手不足

▼現在、保管木が活用されている事例

遊歩道のベンチ、体験活動（シイタケ原木、トントウ、薪・薪割り）等…



現状の活用状況を元に検討部会メンバーで  
①公共性②材質③人手不足 の条件を  
クリアする活用方法を検討



主な意見・アイデア等（抜粋）

「薪をふるさと納税の返礼品に」

「週末副業での人手確保」

「薪の活用がサステナブル消費に？」

# 検討部会で検討した事業・取組等について



## はんのう森林プラットフォーム

Goal1. 埼玉県飯能市の里山、西川林業地の活性化

Goal2. 地域の森林資源を循環的に活用して、地域と暮らしを豊かにする

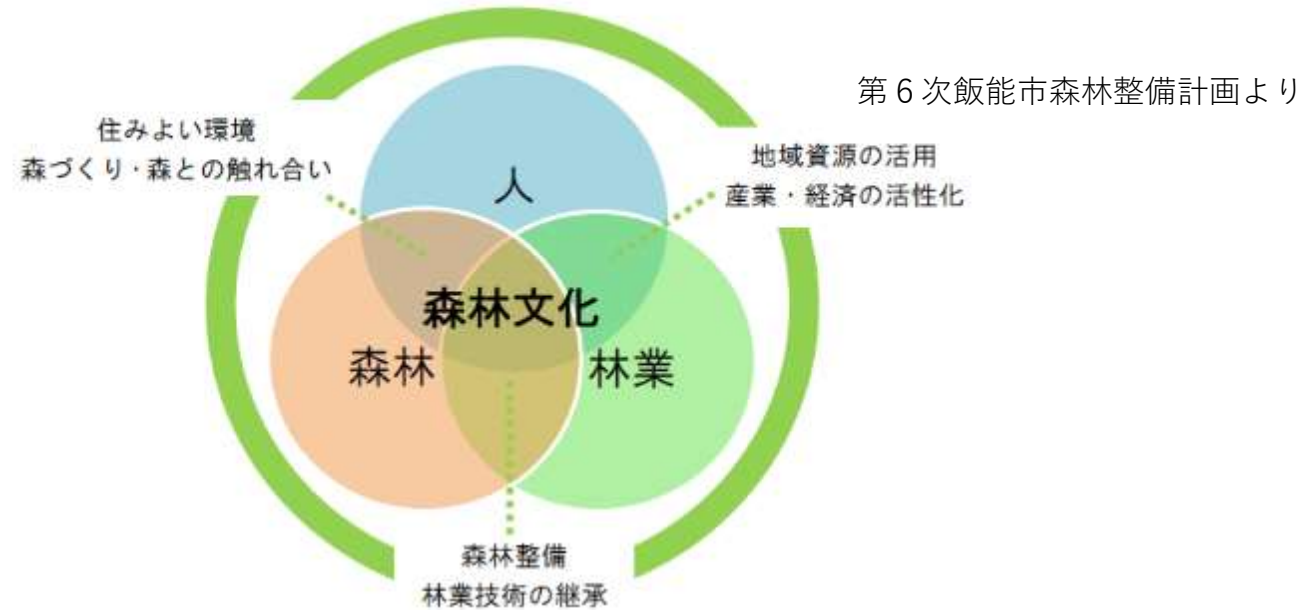
Goal3. 埼玉県から日本の新しい森林利活用を発信

里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

<6>

# 検討部会で検討した事業・取組等について

実施のきっかけ＝地域課題解決  
～豊かな森林文化の再生と創造～



- ①西川林業地の復興に必要な若い担い手が早急に必要である。
- ②地域でこれまで森林整備などに貢献してきた事業者や市民団体の高齢化。
- ③埼玉県における森林・林業への理解を深め、豊かな森と人の環境をSDGsの目標に沿った持続可能な環境へと、再構築する必要性。

里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

# 検討部会で検討した事業・取組等について



森からはじまる未来をつくる  
**はんのう森林プラットフォーム**  
 令和5年度（2023年度）活動計画



## はんのう森林プラットフォームとは

埼玉県産産物、国産野菜と秩父山地が広がる場所に位置し、市域の90%を森林が占めています。「江戸武蔵の森の、かみくき木村」としてその名が行く。『西川町』は、著書する自衛市、お山町、越中町にまたがる西川林業地帯の産物で、7月21日(2020年)には地球プラットフォームで賞状を授けられました。

江戸時代から現在に至るまで、活断層における重要な役割を担ってきた西川林業ですが、次世代を担う若い世代の不足から、地域の森林資源や林業技術の継承に大きな課題を抱えています。

「はんのう森林プラットフォーム」はこれらの課題を解決するため、西川林業に携わる林業者と企業をリポートする持続可能な新しい仕組みと構築するプロジェクトです。

特に若年層を対象とした林業の学び舎「はんのう森林みらい塾」を開塾し、地域道路を走らせ、地域の森林資源に携わることで、モノ、コトをつなぐ情報プラットフォーム化し、地域森林文化のブランド化を推進します。



## はんのう森林みらい塾について

8月開塾予定、林業に関する様々な分野から講師を招聘して講義を行う学び舎です。林業の「かみくき、育い、産物」のイメージを伝わり、「かみくき」「かみくきあふれ」などからなる「かみくき」の林業の息吹を伝えるべく活動していきます。



初年度「産物」は2日と林業を学べるコースを2-3日間予定。当年度は市域の森林関係イベントや観光イベントを中心に、西川で開催される多様なイベントの一元化を行い、将来的には西川林業に本拠を設ける人材の発掘と目指し、NPO法人埼玉ハンノウ大学が運営を行います。

## 森からはじまる3つのテーマ

### ① 森でつながる

#### 西川林業情報発信サイトの運営

森づくりの担い手育成と継承のため、ホームページやSNS、パンフレット等の印刷物による西川林業の広報活動を強化します。「伊藤省フェリスカレッジ」を主軸に、西川町・西川林業の魅力を発信するとともに、林業者と企業をつなぐセクターによるプラットフォームづくりを進めます。



### ② 森ではたらく

#### “林業”をデザインするイベントの開催&運営

主に20代～40代を対象に、県民の林業家を目指す人々の林業体験や、先進事例を学ぶ交流イベントを開催・運営・開催します。新たな視点から、森林と関わる働き方や新規事業、ライフスタイルなどを提案します。

【計画例】 令和5年度は秋、10月、11月、12月3回、4回開催予定。宿泊付き交流イベントを検討中。

- 1. 地域林業を体験
- 2. 「西川の森がエンターテインメント」
- 3. 森林関係者のプロフェッショナルを学ぶ
- 4. 「はんのう森林ワークショップ」
- 5. 森林関係者の専門家を招く
- 6. 「森林関係者のワークショップ」



### ③ 森でくわだてる

#### “森林”をデザインするイベントの開催&運営

西川町・西川林業に関する様々な交流イベントの企画・運営を行います。地域の観光資源としての森林がアピールだけでなく、林業とその価値や人をつなぐ新しい取り組みを推進し、新規事業の創出口としての役割を担います。



西川林業事業者と新規プレイヤーとを「つなげる」体制づくり

里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会





# 検討部会で検討した事業・取組等について



## 「はんのう森林みらい塾」 令和5年8月4日に募集開始

日経、読売、埼玉新聞はじめ、専門誌、  
ネットニュース、ラジオなどで話題に

定員15名に100名近くの応募者集まる

地域のSDGs  
「日本の森林、林業を次世代につなげたい…」  
埼玉ハンノウ大学の小野さんが語る、森の未来 | 埼玉県飯能市  
2023.8.8

ココラバ  
8月20日  
【聴き返し配信公開中】2023年8月20日  
放送告知 | ゲストに株式会社JR中央編コ  
ミュニティデザイン・久郷萌さん、NPO法  
人埼玉ハンノウ大学・小野まりさん  
2023.8.17

FOREST JOURNAL  
注目キーワード  
エコ・地域づくり  
森からはじまる、未来をつくる！ 飯能で森  
林・林業に触れる！  
2023/09/08  
林業機械&ソリューション  
LIST

「日本の森林、林業を次世代につなげたい…」  
飯能で森・林業に触れる！  
2023年8月20日



里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会



# 検討部会で検討した事業・取組等について



2023.10.14  
第1期生  
入塾式



里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

<10>



SDGs 未来都市  
埼玉県

# 検討部会で検討した事業・取組等について



2023.10.15  
Session1  
Day2



里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

<11>



# 検討部会で検討した事業・取組等について



HANNO  
森林みらい塾

2023.11.18  
Session2  
Day1&2



# 検討部会で検討した事業・取組等について

COURSE



## -はんのう森林みらい塾 2023 年度カリキュラム-



### Session.1 「森を知る weekend」 … 10月14日・15日

森を歩き、森を知る。焚き火を囲んで、森と人との関係を考える週末。地域資源の活かし方を、北軽井沢や飛騨の森で成功している先駆者から学びます。



### Session.2 「森を愛でる weekend」 … 11月18・19日

森からうまれる資源にふれる。薪や炭で美味しい森クッキング。知らなかった森や木の使い方に出会う週末。林業の歴史も学びながら、森林との新しい取組みを考えます。



### Session.3 「森からはじまる weekend」 … 2月24・25日

リアルな林業を体験しながら、100年先の未来に想いを馳せる。森からはじまる「いま」を考える週末。森林があなたの素敵な「舞台」になるために、応援します。

入塾のご案内：すべてのセッションに参加できる方。受講料は無料です。  
お問合せフォームをQRコードから読み込んでください。



# 検討部会で検討した事業・取組等について



## 令和6年度事業構想

- Goal4. 埼玉県飯能市の森林をテーマに起業・新規事業開発プログラム
- Goal5. 新しい林業の「スタートアップ支援」の設計

**森からはじまる未来をつくる**

はんのう森林プラットフォーム

里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

# 検討部会で検討した事業・取組等について

職員御礼



はんのうの森の  
ガイド養成講座  
(全4回)

## サステナブルな観光に資する 好循環の仕組みづくりモデル 事業

小・中学生を対象に飯能市内の森林ガイドができる人材を養成する講座。本講座はガイドとして自身でプログラムを組んで収益を上げることができるとしてのガイド養成を目指すもの。

はんのうの森のガイド養成講座～森のガイド人材育成プログラム～

主催：一社）奥むさし飯能観光協会  
運営：NPO 法人埼玉ハンノウ大学  
協力：飯能市・はんのう森林みらい塾



里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会



SDGs 未来都市  
埼玉県

# 検討部会で検討した事業・取組等について

## はんのう森林プラットフォームとは？

### 目指す取組み



「江戸(東京)の西の川からくる木材」としてその名が付いた「西川材」は飯能市と隣接する日高市、毛呂山町、越生町にまたがる西川林業地の名産品で、2009年には地域ブランドとして商標登録されました。

江戸時代から現在に至るまで、西埼玉地域のまちづくりを支えてきた埼玉県の森林を次世代へ、さらに有益なかたちで繋げるプロジェクトを担う新たな人材の育成を目指しています。

里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

<16>



# 検討部会で検討した事業・取組等について

あなたと一緒に、まちをつくる、未来をつくる



SAITAMA Pref.  
SDGs PARTNER

埼玉 **ハノウ大学**  
HANNO UNIVERSITY NETWORK



里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

<17>



SDGs 未来都市  
埼玉県

# 本分野における今後の展開について

○現場（フィールド）での意見・アイデアを実践するプロジェクトの立ち上げ（多様な関係者が参画）



○「はんのう森林プラットフォーム」などの取組やプロジェクトの横展開を図る



○取組が蓄積し、里山・平地林の持続的な保全や活用の取組が進む

# 「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む」分科会 ～プラスチック資源の循環利用促進に関する検討部会～

構成メンバー(210者)R6.1末現在

〈1. 企業会員 136者〉

〈2. 教育機関会員 1者〉

〈3. 市町村等会員 62者〉

市町村及び衛生組合などの一部事務組合

〈4. 消費者・業界団体会員 11者〉

一般社団法人埼玉県環境産業振興協会等

〈埼玉県〉

環境科学国際センター 産業技術総合センター 産業廃棄物指導課 資源循環推進課(事務局)

# 検討部会における背景・課題等について

## 1 背景

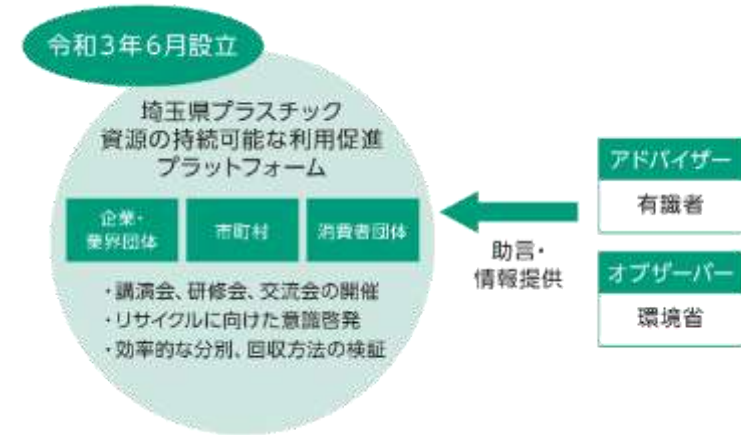
- ・プラスチックを取り巻く国内外の状況(海洋プラスチック問題、気候変動問題等)
- ・プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律(プラスチック資源循環法)の成立(令和3年6月公布、令和4年4月施行)

## 2 目的

- ・プラスチック廃棄物の排出抑制とプラスチック資源の循環利用の促進

## 3 取組概要

- ・先進的な取組事例の共有
- ・会員同士のマッチング支援
- ・その他プラスチック廃棄物の排出抑制及びプラスチック資源の循環利用のために必要な事業 など



プラットフォームイメージ

# 検討部会で検討した事業・取組等について

## 〈会員の連携による取組事例〉

### 「サーキュラーファッションショー」(県庁オープンデー実施)



#### 1. 目的

県民の身近な衣服に着目し、「サーキュラーファッション」による「ショー」を実施することにより、リユースしたり、リメイクして長く着るなど、県民のCEへの関心をさらに高め、具体的な行動を実践するきっかけとしてもらうもの

#### 2. 概要

- ・ショーの企画や演出を会員と連携し検討
- ・ショーでは、埼玉県応援団の松井咲子さん、ユージさん、聖学院大学の学生が、古着やテントの生地などをリメイクしたファッションのほか、使用済みの洗剤容器をアップサイクルしたアクセサリーを身に着けたモデルとして参加
- ・ショーでは牛乳パックや、不要となった作業着から作られたワードローブを使用



アクセサリー



ワードローブ

#### 3. 参加企業

大日本印刷株式会社、聖学院大学サステナビリティ推進センター、森乳業株式会社、丸紅株式会社、株式会社ISILK、株式会社STORY&Co.、ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社

# 本分野における今後の展開について

- 会員の先進的な取組等を情報共有
- 会員同士の交流の機会の提供や、連携した取組を支援 等

# 「未来を創る人材への投資」分科会 ～孤独・孤立の状態にある若者の居場所づくり検討部会～

構成メンバー(134者)

## 【民間企業、NPO等(71者)】

特定非営利活動法人さいたまユースサポートネット、NPO法人フードバンクネット西埼玉、  
特定非営利活動法人こどもの居場所づくり in かわぐち、認定NPO法人ピッコラーレ、  
不登校の子どもを持つ親の会 ムーミンの会、一般社団法人 埼玉県子ども食堂ネットワーク、  
特定非営利活動法人れでいばード、株式会社エース、幸せのクローバー会、コスモナレシピ、  
特定非営利活動法人オハナプロジェクト、生活協同組合パルシステム埼玉、  
特定非営利活動法人新しい住まい方研究所、NPO法人埼玉フードパントリーネットワーク、  
特定非営利活動法人親子ふれあい教育研究所、川越子ども応援パントリー、公平病院、  
株式会社 埼玉りそな銀行、埼玉縣信用金庫、NPO法人carenation、  
認定NPO法人Learning for All、殿山共同農場きずな、株式会社武蔵野銀行

# 「未来を創る人材への投資」分科会

## ～孤独・孤立の状態にある若者の居場所づくり検討部会～

構成メンバー(134者)

### 【民間企業、NPO等(71者)】

志木介護する人を支える会、NPO法人このまちで暮らす会、日本赤十字社埼玉県支部、  
NPO法人子育て応援隊むぎぐみ、公益社団法人埼玉県社会福祉士会、  
認定特定非営利活動法人さいたまNPOセンター、NPO法人新座子育てネットワーク、  
NPO法人クラブしっキーず、特定非営利活動法人 埼玉県就労支援事業者機構、社会福祉法人彩凜会、  
社会福祉法人 敬愛会、公益社団法人生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会埼玉県協会、  
和が家カンパニーズ株式会社、特定非営利活動法人志木市精神保健福祉をすすめる会、  
NPO法人)マインドフルネス総合研究所、NPO法人ふうせん、NPO法人みのり、一般社団法人にじーず、  
社会福祉法人じりつ、NPO法人非行克服支援センター、NPO法人心の子育て支援ハッピーマザー、  
認定NPO法人きらりびとみやしろ、一般社団法人コンパスナビ、社会福祉法人名栗園



# 「未来を創る人材への投資」分科会 ～孤独・孤立の状態にある若者の居場所づくり検討部会～

構成メンバー(134者)

## 【民間企業、NPO等(71者)】

特定営利活動法人 十人十色、新座自然宿、一般社団法人日本ショーファー協会、  
株式会社tree 放課後等デイサービス ロケットクラブ、  
社会福祉法人末広会 特別養護老人ホーム第2春香苑、フレンドシップ上戸田共同事業体、  
一般社団法人埼玉県精神保健福祉士協会、株式会社ディーアイケイ、株式会社オザキ運送、  
労働者協同組合 ワーカーズコープ・センター事業団 埼玉事業本部、医療生協さいたま生活協同組合、  
ぱらっとほーむみよし不登校ネットワーク、社会福祉法人邑元会 特別養護老人ホームあかつき、  
一般社団法人埼玉県歯科医師会、認定NPO法人森のECHICA、  
ぱらっとほーむ～さいたま不登校ネットワーク～、合同会社アーキサンド、  
特定非営利活動法人たねの会、NPO法人トラストコーチング、一般社団法人ペアチル、くきCAP

# 「未来を創る人材への投資」分科会 ～孤独・孤立の状態にある若者の居場所づくり検討部会～

構成メンバー(134者)

## 【民間企業、NPO等(71者)】

合同会社Spica、社会福祉法人恩賜財団済生会支部 埼玉県済生会、特定非営利活動法人エンリッチ

## 【行政機関(43者)】

さいたま市、熊谷市、川口市、行田市、秩父市、所沢市、飯能市、春日部市、狭山市、羽生市、鴻巣市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、蓮田市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、ふじみ野市、白岡市、伊奈町、越生町、嵐山町、川島町、吉見町、鳩山町、長瀨町、小鹿野町、東秩父村、美里町、神川町、上里町、宮代町

# 「未来を創る人材への投資」分科会 ～孤独・孤立の状態にある若者の居場所づくり検討部会～

構成メンバー(134者)

## 【社会福祉協議会(20者)】

埼玉県社会福祉協議会、川越市社会福祉協議会、川口市社会福祉協議会、秩父市社会福祉協議会、所沢市社会福祉協議会、春日部市社会福祉協議会、狭山市社会福祉協議会、鴻巣市社会福祉協議会、上尾市社会福祉協議会、越谷市社会福祉協議会、蕨市社会福祉協議会、戸田市社会福祉協議会、志木市社会福祉協議会、桶川市社会福祉協議会、北本市社会福祉協議会、日高市社会福祉協議会、東秩父村社会福祉協議会、上里町社会福祉協議会、宮代町社会福祉協議会、杉戸町社会福祉協議会

# 検討部会における背景・課題等について

## 1. 背景

- 人々のつながりが希薄化し、孤独・孤立を感じやすくなっている。
- 新型コロナウイルス感染拡大により、孤独・孤立の問題が顕在化・深刻化した。
- 埼玉県人々のつながりに関する基礎調査では、特に20代～40代の孤独感が高い。
- 孤独感の高い20代～40代では、「寂しい際の地域の交流場所の利用意向」について、「利用したい」とした割合が低い。

## 2. 課題

- 孤独感が高い一方、「地域での交流場所」の利用意向が低い若年層が利用しやすい「居場所」の在り方を検討し、人や社会とつながることで、孤独・孤立の解消と予防を図る必要がある。

# 検討部会における背景・課題等について

## 2. 検討部会の目的

- 若者の居場所づくり
  - 地域における多様な居場所づくり
  - 新技術を活用した居場所づくり（メタバース空間 等）
- 構成メンバーの若者支援の取組支援
  - 研修や地域別ワークショップの開催
  - 先進的取組、好事例の共有
  - 各種支援、助成等の情報提供

# 検討部会で実施した事業・構成メンバーによる取組について

## 1. 検討部会で実施した事業

「若者のつながり・居場所づくり」についての意見交換会

## 2. 構成メンバーによる取組

「～アートによる社会包摂を通じた「福祉を超えた」協働モデルの構築～」

(一般社団法人 埼玉県子ども食堂ネットワーク)

# 1. 「若者のつながり・居場所づくり」についての意見交換会

## ○メンバーからの意見・アイデア等(任意)

- 居場所づくりで行政にできること、NPO・企業にできることは何か
  - ・ 民間組織は若者と深く関わるができる一方、資金や情報が不足している。
  - ・ 行政は急な課題への対応が困難であり、具体的な事案に対する柔軟性が課題。
  - ・ 行政には地域をつなげる役割が期待される。
- 若者の居場所の必要性、若者が抱える課題
  - ・ 若者が抱える問題は多様であるため、多様な居場所が必要。
  - ・ 心地よい居場所が心理的な安定感を提供し、将来的な社会参加にもつながる。
- 若者にたどり着くまでの手段は？ (広報)
  - ・ SNSやインターネットを活用する手段が効果的。
  - ・ 窓口対応におけるアウトリーチでは若者に届かないため、支援者（民生委員など）と若者が協力し合い、双方の視点を踏まえたアプローチを検討すべき。

1 概要

NPO等活動を熟知した中間支援組織による孤独・孤立対策に取り組むNPO等の運営能力の向上や活動基盤整備のための支援モデルを構築し、全国展開を図る。

中間支援組織は、地域で孤独・孤立対策を行う中小規模のNPO等への非資金的支援を実施(注)し、取組成果や支援ノウハウ、課題等を取りまとめ、内閣官房に報告する。

(注) 一つの都道府県域を超えて活動する事業が対象

2 公募対象者

中間支援組織(孤独・孤立対策に取り組むNPO等を対象に、運営支援や人材育成、ネットワーク構築等の活動を行う非営利団体)

3 予算額

1.2億円(令和5年度予算)

(1団体当たり委託契約上限額:1,000万円)

4 公募状況

期間:令和5年5月23日~6月13日

申請団体数:8団体

※2次公募を実施予定。



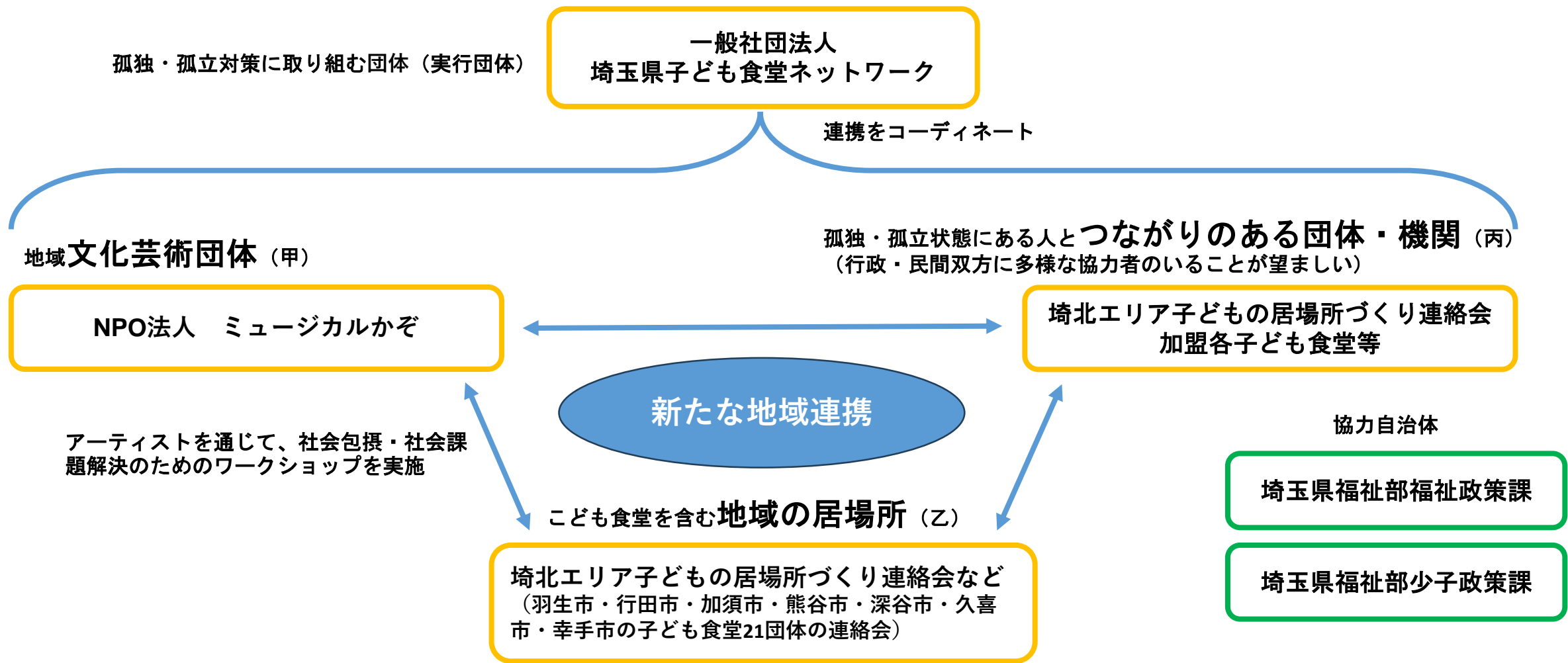
認定NPO法人  
全国子ども食堂支援  
センター むすびえ

一般社団法人  
埼玉県子ども食堂  
ネットワーク 等

令和5年7月11日内閣官房「孤独・孤立対策活動基盤整備モデル調査の取組団体の決定について」



# 2. ～アートによる社会包摂を通じた「福祉を超えた」協働モデルの構築～



孤独・孤立の状態にある若者の居場所づくり検討部会



# 2. ～アートによる社会包摂を通じた「福祉を超えた」協働モデルの構築～



## ・ CHAPTER 1 見てみよう！

ミュージカルかぞによる公演（短縮版）を参加者が観劇する  
ミュージカルとはどんなものを体験する



孤独・孤立の状態にある若者の居場所づくり検討部会

<12>



# 2. ～アートによる社会包摂を通じた「福祉を超えた」協働モデルの構築～



・ CHAPTER 2 やってみよう！

実際に体を動かすワークショップ。  
立ち方・呼吸法・声の出し方などを学んでいき最終的にミュージカルのワンシーンをやってみる



孤独・孤立の状態にある若者の居場所づくり検討部会

<13>



# 2. ～アートによる社会包摂を通じた「福祉を超えた」協働モデルの構築～



## ・ CHAPTER 3 一緒に食べよう！

子ども食堂運営団体が食事を準備し、参加者全員でお昼ご飯を食べます。  
一緒に食べると美味しいね！楽しいね！



孤独・孤立の状態にある若者の居場所づくり検討部会



## 2. ～アートによる社会包摂を通じた「福祉を超えた」協働モデルの構築～

### 【参加者の感想】

アンケートは約50枚回収、幅広い年齢層の参加があり、ワークショップも食事も概ね好評であった。

・おいしかったよ（10代未満）

・いろいろな方と話すことが出来てとても楽しかったです。また、ワークショップで初めましての人ともっと沢山話したいと思いました。子ども食堂も参加したいと思いました！！（10代）

・表現することはとても楽しかったし、みなさんととても暖かく優しく温かい気持ちになりました（10代）

・親子で参加、子供たちの普段とは違う会話や表情をお互いに見れて心が満たされました（40代）

・見るだけでなく先生にミュージカルの表現方法を教えてもらって楽しかった（50代）

・はじめて会ったばかりの人たちと息のあった歌とダンスができ、ピッタリ合ってとても楽しかった（60代）

# 2. ～アートによる社会包摂を通じた「福祉を超えた」協働モデルの構築～

## まとめ

### 新たな地域団体の連携で社会課題を解決していく

- ①人と人との繋がりをつくる → ・孤独・孤立の解消
- ②居場所づくり → ・プラットフォーム（共通の土台）の整備
- ③新たな枠組みでの連携 → ・共通理解を深めた上で、シナジー効果を生み出す可能性を探る
- ④福祉を超えた協働 → ・多くのセクションが関わることで社会全体で包摂していく雰囲気醸成していく
- ⑤誰も取り残さない社会の実現 → ・SDG s の基本理念



孤独・孤立の状態にある若者の居場所づくり検討部会



# フードロス削減分科会

構成メンバー(13者)

味の素(株) (株)埼玉りそな銀行  
イオンモール(株) (株)学研スタディエ  
(株)大泉工場  
(NPO法人)つどいの会(騎西子育て応援フードパントリー)  
Heartsong (福)平野の里  
和光市チームSDGs 埼玉大学  
ASTRA FOOD PLAN株式会社 ニッコー株式会社  
県資源循環推進課

# 部会における背景・課題等について

## 1. 背景

- ・日本のフードロスの状況（廃棄量）  
※フードロス＝「食べられるのに捨てられてしまう食品」

## 2. 目的

- ・埼玉県内の企業・団体（小売業・外食企業・農家・食品メーカー・行政・教育機関等）と共に「食品の有効活用」を促進・推進することで、フードロスの削減を目指すこと

## 3. 課題

- ・フードロス削減を実施するインセンティブ、メリットがあまり認識されていないこと
- ・フードロス削減の取組を生活者に発信、促進しきれていないこと
- ・一社、一組織単独での活動内容が限られていること



# 2022年度取組について



## Step1 (2022.08)

参加者取組み内容・自由提案

22年7月 分科会発足

- ・ SDGsに関するイベント開催
- ・ SDGsに関する講習開催
- ・ SDGsに関する認知拡大
- ・ 規格外野菜・果物を加工販売
- ・ 子ども食堂、フードパントリーとの連携、食糧提供
- ・
- ・
- ・

## Step 2 (2022.10)

2つの目標を中心に検討

### 【短期的目標】

食材の有効活用方法、県民のフードロス削減取組の推進

### 【長期的目標】

フードロス削減に向けた仕組み作り（子ども食堂、フードパントリー、フードドライブの実施等）

## Step 3 (2022.12～)

短期的目標に向けた取組注力

**イベント開催、  
教育分野における広報活動**を通し、  
埼玉県内におけるフードロス削減  
取組の認知拡大、  
食材の有効活用方法の発信



フードロス削減分科会

<3>



# 2022年度取組について

## 【2022冬 SDGs大作戦】

- ・ 時期：12月22日（木）
- ・ 場所：オンライン
- ・ 概要：小学生を対象に埼玉県内のSDGsに取り組む様々な企業様の活動紹介、SDGs活動の内容についてクイズ形式でのイベントを実施  
ハートソングによる、フードロス削減取組み内容紹介、インタビューを実施し、動画教材を作成
- ・ 効果：72名が参加  
「SDGsについて詳しく知る機会になった」  
「こんなに多くの食べられる食材が捨てられていることを知った」など、食品ロスについての認知を促進することに成功
- ・ 参考：<https://youtu.be/M7YjIycG5Ko>



フードロス削減分科会

<4>



# 2022年度取組について

## 【フードロス削減に関する広報活動】

- ・ 時期：2023年3月
- ・ 場所：県内各イオンモール ※サイネージ保有施設のみ
- ・ 概要：施設内に設置されているサイネージを活用  
フードロス削減の啓発動画を公開



余りやすい食品を活用したレシピを紹介  
(提供元：味の素㈱)



フードロス削減啓発動画  
(提供元：九都県市首脳会議廃棄物問題検討委員会)



サイネージ

フードロス削減分科会

<5>



# 2022年度取組について

## 【食品ロスについての標語をつくろう】

- ・ 時期：2023年3月1日（水）
- ・ 場所：学研スタディエ 各教室
- ・ 概要：
  - 小学生を対象に、フードロス問題について学び、標語をつくるイベントを開催
  - ハートソング作成の家庭用コンポストを優秀賞としてプレゼント
  - 家庭内生ごみの有効活用を促進



# 2023年度取組について

- 【短期的目標】 食材の有効活用方法、県民のフードロス削減取組の推進  
【長期的目標】 フードロス削減に向けた仕組み作り

## Step 1 認知拡大・行動促進

### 【2022年～2023年】

- ・フードロスに関するイベント、講習の開催を通して、県民のフードロス削減取組みの促進（身近な単発行動から）
- ・企業・法人間の繋がり、フードロス削減共同取組み促進

## Step 2 継続・定着

### 【2023年～2025年】

- ・継続的な食材の有効活用方法、フードロスに関するイベントを通して、県民のフードロス削減取組の継続を促進
- ・企業・法人間の参画促進

## Step 3 フードロス減少取組みの 定着

### 【2025年以降】

- ・県民、企業、法人間においてフードロス削減取組みが当たり前に根付いた社会の促進

# 2023年度取組について①

## 【「みんなでフードロス削減」 イベント実施】

- ・ 時期：10月28日（土）、29日（日）
- ・ 場所：イオンモール上尾AGEOPARK
- ・ 参加：約300名
- ・ 概要：フードロスを考えるきっかけになる、イベントを実施。
- ・ 成果：集客イベントを初実施し、生活者にフードロス削減を考えるきっかけにすることが出来た。  
埼玉大学、聖学院大学の学生の協力を得られた。
- ・ 課題：認知期間が短くなったことで、フードドライブの参加が低位。

# 2023年度取組について①

## 【「みんなでフードロス削減」イベント実施】

埼玉大学学生さん作成チラシ

ニッコー社 水の体験

埼玉県庁 SDGs 缶バッジ

味の素社 フードロスクイズ



埼玉りそな銀行・上尾市 フードドライブ

マクドナルド社 ドナルドフードロスショー

コバトン  
& りそにゃ



フードロス削減分科会

<9>



# 2023年度取組について②

## 【みんなで考えよう！フードロス削減レシピコンテスト】

- ・ 時期：10月16日～11月15日
- ・ 概要：フードロス削減レシピコンテストを実施。
- ・ 成果：実際に行動に繋げる企画が実現出来た。受賞作品を県HPで掲載。
- ・ 課題：認知を広げることが出来ず、応募数が少なかった。



### フードロスとは？

フードロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品(フード)のことです。国民1人あたり1日に茶碗約1杯分のご飯が捨てられています。フードロスを減らすためには、必要な分だけ購入すること、食材をできる限り使い切ることなどが大切です。フードロス削減につながるレシピを考えてみましょう！

### こんなところも食べられるの？!

#### 【レシピ例】大根・人参の皮を食べてみよう!

- ①大根20cm、人参1/2本の皮を細切りにする。
- ②熱したフライパンにごま油大さじ1を入れ、輪切りにした大根の皮1本と①の食材を炒める。
- ③しんなりしたら、醤油大さじ1・みりん大さじ1と1/2を入れて汁気がなくなるまで炒める。
- ④お皿に盛り、ごまを適量振りかけたら完成。

募集内容	入賞特典
<b>【必須項目】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ レシピ名、料理写真</li><li>・ フードロス削減を意識した食材</li><li>・ 料理手順 など</li></ul> <b>【部門】(2部門)</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 小学生・中学生の部</li><li>・ 高校生・大学生・一般の部</li></ul> ※応募資格のある方は、埼玉県在住・在学・在勤者です。(個人応募のみ) ※詳細は下記URLまたは表面のQRコードよりご確認ください。 <a href="https://apply.e-tumo.jp/pref-saitama-u/offer/offerList_detail?tempSeq=61929">https://apply.e-tumo.jp/pref-saitama-u/offer/offerList_detail?tempSeq=61929</a>	優秀賞に選出された方には、フードロス削減分科会より、表彰状と景品を郵送いたします。 ※景品写真は一例です。 





# 2023年度取組について③

## 【埼玉県庁食堂 フードロス削減メニュー展開】

- ・ 時期：10月～
- ・ 場所：埼玉県庁職員食堂
- ・ 概要：第一職員食堂、第二職員食堂がフードロス削減メニューを考案。味の素(株)が、食堂メニューを家庭用にアレンジして広く発信。
- ・ 成果：家庭用のレシピを作成し持ち帰り用QRコードやホームページを作成したことで、フードロス削減についての意識醸成及び実践アイデアを、食堂利用者だけでなく利用者の各家庭や県民へも拡げることが出来た。

# 2023年度取組について③

## 【埼玉県庁食堂 フードロス削減メニュー展開】

埼玉県庁内ポスター作製

食堂内持ち帰り用  
レシピQRコード

QRコード遷移先  
メニューページ

各画像クリック  
メニュー詳細ページ



# 本分野における今後の展開について

- 【短期的目標】 食材の有効活用方法、県民のフードロス削減取組の推進  
【長期的目標】 フードロス削減に向けた仕組み作り

